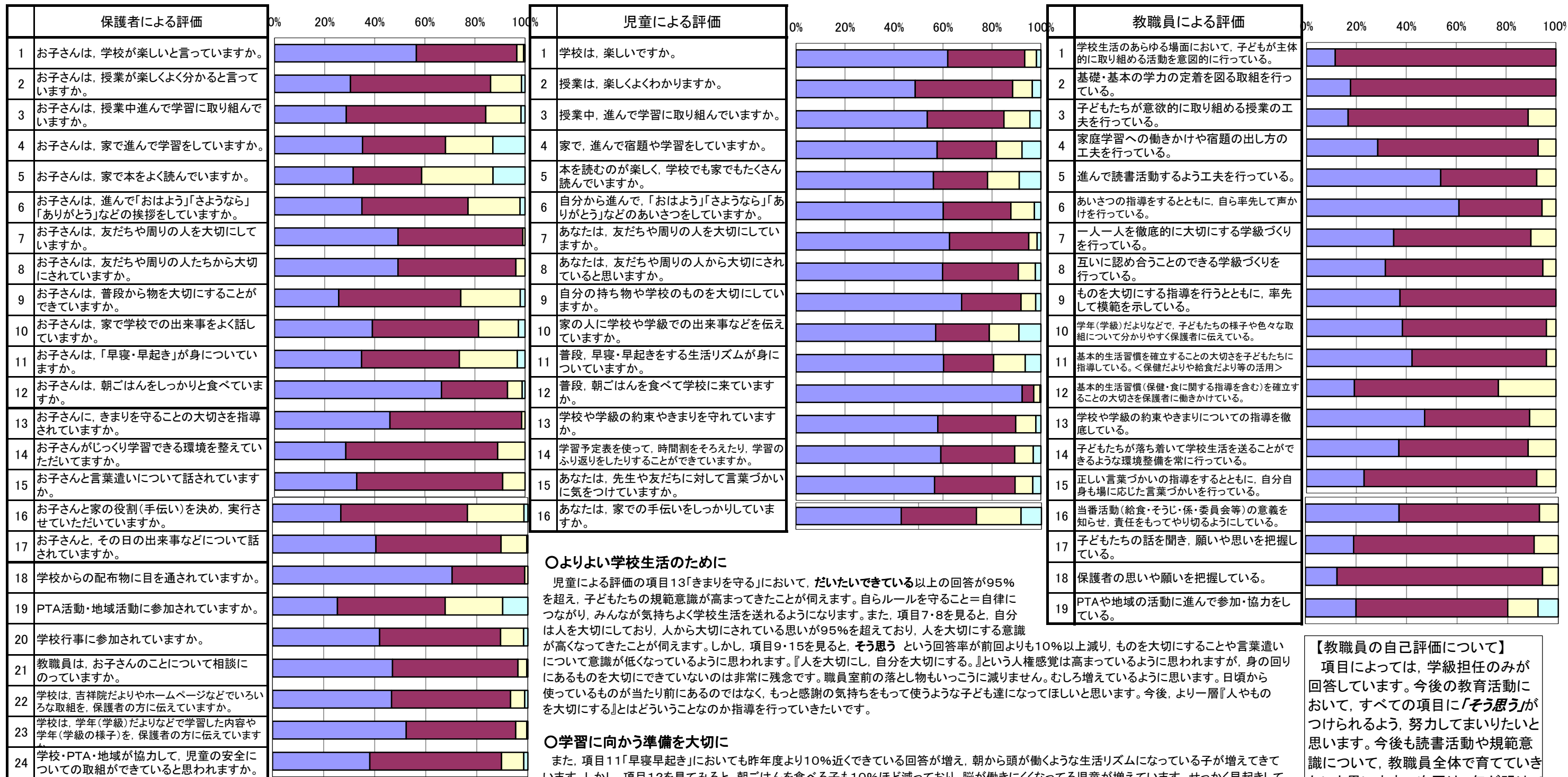


学校評価を 児童の豊かな学びと育ちへ

平成26年7月実施 学校評価（保護者 児童 教職員）のまとめ

7月の個人懇談時に実施いたしました学校評価の集計ができました。今回、約260名の保護者の方々から回答を頂きました。心からお礼申し上げます。教育活動を見直すことができるように、保護者のみなさまと子どもたち、そして教職員が、様々な視点で評価できる形にしております。簡単な考察ですが、掲載しましたのでご一読いただければ幸いです。この結果をいかし、さらに子どもたち一人ひとりを大切にしたい教育活動を行っていきたいと思います。今後とも、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

グラフの見方(左から)
そう思う
だいたいできている
あまりそう思わない
そう思わない



○保護者アンケートの結果より

項目13～17の『家庭でのお子さんに対するかわり』に関する設問全般において、前回行った平成25年度2月の学校評価と同様に良い結果が出ました。これは各ご家庭においてご努力いただいているものと大変感謝しております。特に、項目13から、いつもお子さんにきまりを守る大切さをお話されていることが伺えます。また、項目9において前回より約10%そう思うの割合が増え、家庭では「普段から物を大切にできている」様子がうかがえました。これからも一層保護者の方々と連携を図り、子たちが生き生きと学校生活を送れるよう努力していきます。

○よりよい学校生活のために

児童による評価の項目13「きまりを守る」において、**だいたいできている**以上の回答が95%を超え、子どもたちの規範意識が高まってきたことが伺えます。自らルールを守ること＝自律につながり、みんなが気持ちよく学校生活を送れるようになります。また、項目7・8を見ると、自分は人を大切にしており、人から大切にされている思いが95%を超えており、人を大切にする意識が高くなってきたことが伺えます。しかし、項目9・15を見ると、**そう思う**という回答率が前回よりも10%以上減り、ものを大切にすることや言葉遣いについて意識が低くなっているように思われます。『人を大切にし、自分を大切にする。』という人権感覚は高まっているように思われますが、身の回りにあるものを大切にできていないのは非常に残念です。職員室前の落とし物もいっこうに減りません。むしろ増えているように思います。日頃から使っているものが当たり前にあるのではなく、もっと感謝の気持ちをもって使うような子ども達になってほしいと思います。今後、より一層『人やものを大切にすること』とはどういうことなのか指導を行っていきたいです。

○学習に向かう準備を大切に

また、項目11「早寝早起き」においても昨年度より10%近くできている回答が増え、朝から頭が働くような生活リズムになっている子が増えています。しかし、項目12を見てみると、朝ごはんを食べる子も10%ほど減っており、脳が働きにくくなっている児童が増えています。せっかく早起しているのに頭が冴えないという残念なことに陥る傾向が見られます。早寝早起きをし朝ごはんを食べることで脳は活性化されます。朝起きてから登校するまでの時間の使い方をもう一度見直し、朝ごはんを食べる時間を確保してほしいと思います。さらに項目14を見ると、**そう思う**という回答率が10%以上減り、時間割をあわせることや宿題・持ち物などの準備がおろそかになっているようです。持ち物や宿題の忘れ物があると、意欲的に学習しようと思っても、なかなか気分が乗り切れない原因になります。また、学習の準備がおろそかになると、授業中に発表をがんばれなくなったりノートの字が乱れたりすることがあります。項目2・3においては、前回とほぼ同じ結果が出ており、授業はよく分かり進んで取り組めている児童は、80%を超えています。今後も、楽しい授業・子どもたちが分かる授業を心がけるとともに、学習の準備や学習に対する姿勢も合わせて指導していきたいです。

【教職員の自己評価について】

項目によっては、学級担任のみが回答しています。今後の教育活動において、すべての項目に**「そう思う」**がつけられるよう、努力してまいりたいと思います。今後も読書活動や規範意識について、教職員全体で育てていきたいと思っています。次回は、年が明けてから学校評価を実施します。よろしくお願いいたします。

